



OrCAD Documentation Editor PCB ドキュメント作成プロセスの自動化

概要

OrCAD® Documentation Editor は、複雑な PCB ドキュメントをインテリジェントに自動化し、従来の方法と比べて短時間に作成できる PCB ドキュメント作成オーサリングツールです。Windows デスクトップ・アプリケーション・スタイルとユースモデル (図 1 参照) で開発された OrCAD Documentation Editor を利用すれば、PCB の加工や組み立てに必要なドキュメントをすばやく簡単に作成することができます。

OrCAD Documentation Editor は、PCB ドキュメント作成について精通しています。OrCAD の PCB CAD データを利用して、PCB 図面、詳細図、注意書き、ドリルチャート、部品表など、さらにドキュメントの重要な詳細部分をインテリジェントにリンクして作成します。作成されたドキュメントは、PCB の加工、組み立て、検査に必要な正確な指示書となります。充実した Documentation Editor リリース・パッケージは、最終成果物の構築、表示、アーカイブ化に必要なすべてのデータを含みます。

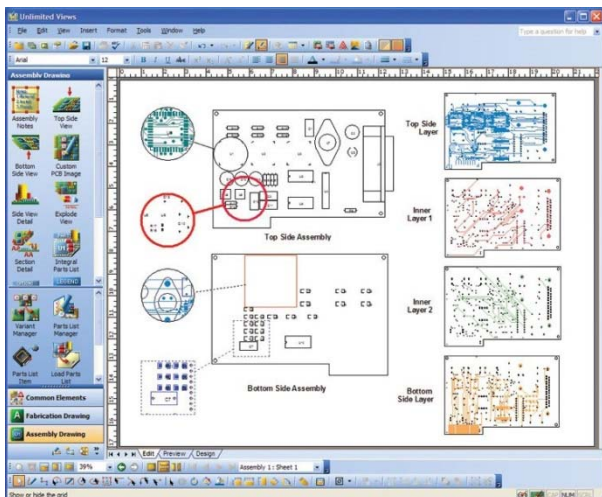


図 1 : OrCAD Documentation Editor で複雑な PCB ドキュメントを短時間に作成

要旨

- 直観的に使用できる Windows デスクトップ・アプリケーションのスタイル、ユースモデルと操作方法により、PCB ドキュメント作成の生産性を向上し、作業を容易に
- OrCAD PCB Editor との密接な統合により、単にドラッグするだけで設計データを受け渡せるため図面作成プロセスを手早く処理
- インテリジェントな自動化により、加工、組み立て、検査向け等の PCB 図面作成に費やされる時間を大幅に節減
- 部品組み立て図、ドリルパターン図、詳細図、部品表など、OrCAD PCB CAD データから自動作成することで、面倒な手作業による作図を排除
- OrCAD PCB Editor で行った設計変更は、影響を受けるすべての図面要素に自動的に反映されるため、設計変更によるドキュメント更新に要する時間が劇的に短縮

ドキュメント作成機能

図面の作成

標準またはカスタムの図面要素を図面毎の要素パレットからドラッグ・アンド・ドロップするだけで簡単に追加できます。シート外枠、タイトルブロック、PCB 図面、ドリル表、詳細図、テキストボックス、注意書きブロックなど図面要素配置キャンパス内にドラッグ・アンド・ドロップできます。図面に追加した要素は、簡単に移動、サイズ変更、カスタマイズできます。

各要素は他の要素と独立して、拡大・縮小、フォーマット化、変形（回転、反転 など）が可能です。図面に配置できる要素の数に制限はありません。

加工図と組み立て図ツール

ツールでは、加工図と組み立て図に PCB 図面を追加する機能がサポートされています。基板外形、PCB の表面/裏面、ドリルパターン、ドリルチャート、部品一覧表、部品配置座標一覧など、多くの図表をドラッグ・アンド・ドロップできます。詳細図テンプレートにより、ビア・スタックアップ、積層図、面取り、V カットなど数種類の共用図面要素の詳細図作成を自動化できます。部品組み立て PCB 図面は、仕向けによりフィルタリングでき、また、部品一覧表に仕向けのステータスを適用できます。プロセス・ドリブンの PCB 組み立て用の組み立てプロセスドキュメントも作成可能で、組み立てプロセスごとの色分け図面、プロセス・ステップ表、プロセスごとの部品一覧表を簡単に作成できます。さらに高度な機能として、幾何寸法と公差 (GD&T)、座標寸法、ビア・スタックアップでのブラインド/ベリード・ビアのサポート、PCB 図面、ドリルチャートなどの作図機能があります。

設計ドリブンのドキュメント作成

OrCAD Documentation Editor の図面コンテンツは、OrCAD の PCB CAD データから直接引き渡されます。部品、ピン、組み立て実装面、層、ビア、ネット、仕向け組み立て、部品属性、ドリルとシンボルなど重要な設計データを取り込むことで、ドキュメントの正確さを担保します。

JPEG/BMP/GIF/TIFF などの外部コンテンツも取り込んで図面に組み入れることができます。また OLE オブジェクト、オーディオ/ビデオファイルをインポートしてドキュメント内からリンクし、ドキュメントのリリース・パッケージに格納できます。さらに、ガーバー/DXF ファイルも入出力できます。

ECO

OrCAD Documentation Editor のすべての図面要素は、元の OrCAD PCB CAD データから引き渡されます。OrCAD Documentation Editor で改訂された設計を開く場合、単に元の CAD データを最新情報に更新するだけで高速なエンジニアリング・チェンジ・オーダー (ECO) のアップデートが実行されます。最新情報に更新すると、PCB 図面、表、詳細図、部品一覧表、ドリルチャートなど、すべての図面要素が新しい設計データで更新されます。ユーザーによる各要素のすべてのカスタマイズが維持されるため、更新後のドキュメント作成のやり直しも最低限で済みます。

最新の製品やリリースの情報については、www.cadence.co.jp/orcad サイトをご覧ください。こちら (orcad-japan@cadence.com) にお問い合わせください。



日本ケイデンス・デザイン・システムズ社

本社 / 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-100-45
営業本部 OrCAD グループ
TEL.(045)475-7700 FAX.(045)475-8415
〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町 2-6-12 サンマリオン NBF タワー16F
TEL.(06)6121-8095 FAX.(06)6121-7510
URL <http://www.cadence.co.jp/orcad>

©2014 Cadence Design Systems, Inc. All rights reserved worldwide. Cadence、Cadenceロゴ、OrCADおよびOrCADロゴはCadence Design Systems, Inc.の米国またはその他の国における商標または登録商標です。その他記載されている製品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

* 掲載の内容は、2014年11月現在のものです。